

Shokei Music Festival 2023

尚綱音楽祭

入場無料



2023 10/22 (日)

14:00-16:00 [開場13:30]

東北大学百周年記念会館 川内萩ホール

地下鉄東西線 国際センター駅下車 徒歩5分

出演
(予定)

尚綱学院中学校・高等学校 管弦楽部
尚綱学院中学校・高等学校 合唱部
尚綱学院大学 管弦楽団
尚綱学院大学 子ども・学校教育学類「合唱」&佐藤ゼミ履修生
土田 定克 (尚綱学院大学 芸術・スポーツ部門 教授)
佐藤 淳一 (尚綱学院大学 芸術・スポーツ部門 教授)

お問い合わせ

詳細は「尚綱音楽祭 特設ホームページ」をご確認ください
≫ <https://ap.shokei.jp/effort/musicfes/>
学校法人尚綱学院企画課
≫ e-mail.kikakuka@shokei.ac.jp | tel.022-381-3332 | fax.022-381-3335

二次元コードからも
アクセスできます≫



●事前のお申込みは不要です。どなたでもご来場いただけます。

※駐車場の数には限りがございますので、公共交通機関をご利用ください。
※出演者やプログラムはやむを得ない事情により変更する場合がございます。



学校法人尚綱学院



尚綱音楽祭 実行委員長
佐藤 淳一

第9回 尚綱音楽祭開催にあたって

尚綱音楽祭も今回で9回目を数えました。昨年は学院創立130周年に当たり、また今年は大学開学20周年となります。大学としての歴史はまだ浅いのですが、ブゼル先生の時代からずっと音楽を愛し、大事にしながら今日まで至っています。昨年までの3年間はコロナによる制約のために、やりたいことを自由に企画できませんでした。今年はコラボレーションする演奏を増やそうとプログラムを組みました。今後も中高生と大学生の合同演奏、いずれ附属幼稚園の園児たちも交え、今まで以上の「オール尚綱」を目指していこうと考えています。この演奏会が卒業生の皆さん方の同窓会としての場となっていくことも期待しています。多くの方々にご来場いただき、生徒・学生たちの練習の成果を、是非生の音でお楽しみいただきたいと願っております。

尚綱音楽祭実行委員長 佐藤 淳一

出演者プロフィール

中高 管弦楽部

「せっかくやるなら、やりたい曲に挑戦する!」ということで、多少編成や難易度的に無理があるかと前向きに挑戦している元気なオーケストラです。中学・高校1年で初めて楽器をもった部員も多いのですが、週3回の練習の1回1回を大切にしながら活動しています。11月5日「日立システムズ エンジョイ!クラシック コンサート2023」にて仙台フィルハーモニー管弦楽団と共演予定、12月には東京で「全国高等学校選抜オーケストラフェスタ」に出演予定(宮城第一高等学校と共演)。

大学 管弦楽団

音楽科を持たない大学ながらオーケストラの授業があり、その受講生で構成された全国に類を見ない管弦楽団として短大時代の1988年に発足。以後、徐々に発展を続けましたが、2014年の第21回定期演奏会を最後に愛好会に移行しました。しかし、教養を高めるためのカリキュラム改変に伴い2017年度から全ての学類、学年の学生が受講できる自由科目の授業として復活。プロの演奏家や指導者をトレーナーとして迎え、個々の演奏レベル及び管弦楽団としてアンサンブルの技術向上に努めています。

中高 合唱部

私たち合唱部は同じ学び舎で勉学を共にする中学生と高校生が、「礼節」「感謝の心」「思いやり」の3点を大切に、演奏のみならず、全てにおいての「美しいハーモニー」を実現すべく、日々自主的に活動に取り組んでいます。定期演奏会や文化祭、賛美礼拝等の学内諸行事はもとより、地域の催し物等に積極的に出演しています。2017年3月にスローカー・トロンボーン4重奏団、2018年7月に広島県立観音高等学校音楽部OB合唱団東京支部との共演を果たしました。国際ソロプチミスト仙台アイリスSクラブ会員。

大学 子ども・学校教育 学類 「合唱」&佐藤ゼミ 履修生

音楽を愛し、歌うことの大好きな学生が、保育や教育の現場での音楽指導に役立てるために合唱やアンサンブルという形で「歌う」経験を積んでいます。合唱履修生8名、3年ゼミ生8名、4年ゼミ生8名が参加します。



テノール/佐藤 淳一

さとう じゅんいち

東京藝術大学声楽科卒業。同大学院修士課程修了。1990~91年ミュンヘンにてアダルベルト・クラウス氏に師事。ドイツより帰国後は宗教曲のスペシャリストとして活動を続け、また1992年からは仙台オペラ協会の貴重なテノールとして公演を支えている。現在は歌手としての活動に加え、合唱指揮者として女声・男声・混声合唱団の指導を行い、仙台フィルと第九を歌う合唱団など、特設合唱団の合唱指揮・指導も行っている。現在、尚綱学院大学教授。仙台宗教音楽研究会(オルガンとカンタータの会)代表。仙台オペラ協会芸術監督・演奏部会員代表。宮城県芸術協会会員。日本演奏連盟会員。宮城県芸術選奨新人賞ならびに芸術選奨を受賞。

指揮/西川 慶

にしかわ けい

くらしき作陽大学音楽学部音楽学科トロンボーン専攻卒業後、渡独。ハンブルク音楽院上構課程を経てロストック音楽・演劇大学芸術家養成課程を修了しディプロム号(修士号に相当)取得。メクレンブルガー・カンマーゾリステン(ドイツ)、岡山フィルハーモニック管弦楽団などプロオーケストラでの代理奏者をはじめ、様々な演奏経験を積む。2012年4月より尚綱学院中学校・高等学校音楽科教諭、合唱部顧問。2017~2019年には中・高管弦楽部顧問、尚綱学院大学非常勤講師(オーケストラ)を兼務。第12回日本クラシック音楽コンクール全国大会トロンボーン部門審査員特別賞受賞。

ピアノ/土田 定克

つちだ さだかつ

第3回ラフマニノフ国際コンクール第1位。桐朋学園大学音楽学部ソリスト・ディプロマコースを経てモスクワ音楽院卒業、同大学院修了。名指揮者フェドセーエフ、三ツ橋敬子ほか多数と協演。国内(東京文化会館、東京オペラシティ、横浜みなとみらい等)だけでなくロシア全域、ウクライナ、クアアチア、タイ、韓国等で演奏会開催。CD「ラフマニノフ 24のプレリュード」「ピアノ名曲集 乗り越えて」を発売。自著『ラフマニノフを弾け』を上梓。2018年、ウクライナ第二元大統領クチャマより功労感謝状授与。今年12月、新刊書『演奏—ラフマニノフに聴く演奏の極意』を上梓する予定。尚綱学院大学教授。